

能登半島支援

南あわじ市社会福祉協議会
ボランティア
センターだより

2024年8月
第189号

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、石川県をはじめとする北陸地方に大きな被害をもたらしました。南あわじ市社協では、6月20日～6月26日の7日間、石川県七尾市災害ボランティアセンターへ職員1名を派遣しました。

現地では、近畿ブロックの派遣職員と共に災害ボランティアセンターの運営支援などを行いました。

発災から半年以上が経ちますが、復興への道のりはまだまだ長い月日が必要です。これからも南あわじ市社協では、被災地のためにできることを続けてまいります。



みなさまには、この度の能登半島地震にあたり、義援金・支援金のご協力ありがとうございました。ご協力いただきました義援金は共同募金会を通し被災地支援のために、支援金は能登福祉救援ボランティアネットワークを通し現地での活動のために使わせていただきます。

義援金：807,055円
支援金：501,971円
義援金：243,662円
(県指定)

(R6年7月5日現在)

みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち ～つなぐ・つながる・つなぎあう～ 法務局跡地 オープンデイ開催！



社協では、法務局跡地を活用して地域交流拠点をつくらうとしています。実際どんな拠点にしていこうかと、7月5日・6日に現地に住民のみなさまにたくさんのご意見をいただきました。お越しいただいたみなさま、暑い中ありがとうございました。たくさんの「あったらいいな」をもとに、7月末のワークショップで話し合い具体的なイメージを共有していきます。

法務局跡地の活用については、
インスタグラムで報告していきます。
専用アカウント@nanisunnode



ふれあい・いきいきサロン リーダー交流会 楽しく脳と体を鍛えよう！

6月29日、田植えが終わる頃「ふれあい・いきいきサロン～リーダー交流会～」が行われました。

第一部は、広田の認知症対応型のデイサービス「元気の家」の職員の方にお越しいただき、脳と体を鍛えることで、認知症が発症しづらい脳をつくるトレーニング法を学びました。

今回のテーマは「笑うこと！」

「元気の家」は、一人一人の生活を大切に一日笑って、「楽しかったわー」と言って帰ってもらうことをモットーにしています。「らくしゅう式脳機能訓練」は脳に直接アプローチをかけ、「コアチューニング」では体幹を鍛えます。

参加した方からは、「体が軽くなった、サロンのみんなでもやってみたい」「笑うことがたくさんあった」と好評でした。



自分の体幹を感じます



腹式呼吸をしながらの体操です



サロン間で情報交換

第二部はサロン同士のおしゃべり会です。『自分のサロン自慢！』『集まる事の効果』や、『サロンでの困りごと』などをグループに分かれて話し合いました。

「季節を感じる行事をしている」「人と話す機会が増えた」「一人暮らしなので会って話せるのがいい」「地区の情報が得られる」「他のサロンと交流できてよかった」等、沢山の意見があり自分たちのサロンの魅力や集まる効果を再発見できたようです。

また、今回の参加者40名中6名の男性リーダーが参加されていたように、地域での男性の居場所も増えてきています。地域の誰もが気楽に参加できる、そんな居場所づくりをこれからも応援していきます。

☆生活支援コーディネーターから一言☆



サロンは、地域の「つながりづくり」「生きがいづくり」「情報交換の場」となる活動です。運営に携わっているリーダーのみなさまは、みんなで楽しく過ごせる場づくりのために、日頃のサロン活動において工夫している点や課題、解決策などを話し合いながら交流を深めていました。サロン同士の輪が広がり、みなさまの活動のお役に立てるよう、次回の交流会も企画していきたいと思っております。

南あわじ市社会福祉協議会

生活支援
コーディネーター
だより



発行

南あわじ市社会福祉協議会
〒656-0122

南あわじ市広田広田 1064

【TEL】 44-3007

【FAX】 44-3037

【MAIL】

info@minamiawaji-shakyo.or.jp



登録サロン数 80 か所
(R6.7月現在)